授業科目	英語教科教育法Ⅴ					実務家教員担当科目	-
単位	2	履修	選択	開講年次	4	開講時期	前期
担当教員	西原　真弓						
授業概要	英語教科教育法Ⅰ～Ⅳや専門教育科目で学修したことを踏まえ、学習指導要領に即した授業の目標設定、目標達成に向けた授業の展開方法、授業内での教師ー生徒間や生徒間でのコミュニケーションの取り方などについて、総括的に理解を深めることを目標とします。同時期に実施される教育実習での実践的学びの成果を、後半の授業内で共有し合うことにより、中学校・高等学校における英語科教育の在り方について客観的な視点で考察することができるようになります。さらに、理論的な枠組みや海外の知見を用いながら、今後の英語教育の方向性について根拠に基づいた意見が持てるようになることを目指します。						
授業形態	講義・演習			授業方法	ディスカッション、模擬授業		

学生が達成すべき行動目標	
標準的レベル	1. 授業展開に則した学習指導案を作成することができる。 2. 学習指導案に即した授業を行うことができる。 3. 効果的な配布資料を作成することができる。 4. 電子黒板やパソコン等の IT 機器を効果的に活用して授業を行うことができる。 5. 英語に関する確かな知識と運用能力を用いて、英語による授業が展開できる。 6. 英語教師への志と資質をさらに高めることができる。
理想的レベル	以下の項目を高度なレベルで行うことができる。 1. 授業展開に則した学習指導案を作成することができる。 2. 学習指導案に即した授業を行うことができる。 3. 効果的な配布資料を作成することができる。 4. 電子黒板やパソコン等の IT 機器を効果的に活用して授業を行うことができる。 5. 英語に関する確かな知識と運用能力を用いて、英語による授業が展開できる。 6. 英語教師への志と資質をさらに高めることができる。

評価方法・評価割合

評価方法	評価割合（数値）	備考
試験		
小テスト		
レポート	40%	授業展開に関する理解度の深さを判断します。
発表（口頭、プレゼンテーション）	40%	模擬授業と実践力をコメントで評価の視点と深さを判断します。
レポート外の提出物		
その他	20%	授業外で自主的に行う英語力向上の姿勢を評価します。

カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング

DP1	○	DP2	-	DP3	-	DP4	○	DP5	○	ナンバリング	EN44113J

学習課題（予習・復習）	1回の学習目安（時間）
復習：該当部分の復習 教科書精査 英語力向上のための学習 模擬授業の準備	4

授業計画	
第1回	英語教科教育法Ⅴの授業ガイダンス 教科書精査の仕方と様々な音読の仕方を学習する。 授業で使える言語活動を共有する。
第2回	教育実習に向けて学びの目標を明確にする。 授業視察の視点をもつ。 授業の流れ、それぞれの活動の目的と繋がりなどについて意識を高める。
第3回	授業の展開を考えた導入・帯活動・言語活動の在り方を理解する。 目標と評価の一体化に関する確認を行う。
第4回	中学校の検定教科書を用いた模擬授業 バックワードデザインの手法を用いた授業展開について確認する。
第5回	高等学校の検定教科書を用いた模擬授業 英語コミュニケーションの授業の組み立て方について確認する。
第6回	中学校の検定教科書を用いた模擬授業 読ませる活動と書かせる活動の在り方と評価の仕方について考える。
第7回	高等学校の検定教科書を用いた模擬授業 論理・表現 の授業実践
第8回	中学校の検定教科書を用いた模擬授業 発表とやり取りを中心とした活動実践
第9回	高等学校の検定教科書を用いた模擬授業 思考力・判断力・表現力を育成する授業の在り方を考える。
第10回	中学校の検定教科書を用いた模擬授業 教科書の内容から発展的に考えさせる活動実践
第11回	高等学校の検定教科書を用いた模擬授業 ペアワークやグループワークがアクティブ・ラーニングになっているかを見る視点を養う。
第12回	教育理論と照らし合わせて考察する日本の教育 日本の英語教育の現状と課題についてディスカッションを通して理解を深める。
第13回	海外の知見から今後の日本の英語教育を考える。 （ディスカッション）
第14回	英語教師の役割の理解を深める。（ディスカッション） 言語学習者としての自己分析をする。

第 15 回	これまでの学びの総括
テキスト	・文部科学省『中学校学習指導要領解説　外国語編』（2017） ・文部科学省『高等学校学習指導要領解説　外国語編』（2018）
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	・金森憲他『英語授業ハンドブック・中学校編』大修館書店（2013） ・金森憲他『英語授業ハンドブック・高校編』大修館書店（2013） ・望月昭彦・磐崎弘貞・卯城祐司・久保田章（著）『新学習指導要領にもとづく英語科教育法 第３版』 大修館書店（2018） ・文部科学省『中学校学習指導要領』（2017） ・文部科学省『高等学校学習指導要領』（2018） その他、適宜授業中に紹介する。
課題に対するフィードバックの方法	レポートにはコメントをつけて返却します。 模擬授業には口頭で講評をします。 英語力向上のための学習についてはコメントをつけて返却します。
学生へのメッセージ・コメント	教育実習に向け、授業を行う者の責任として自分の英語力を向上させるための努力をすることを忘れないでください。 英語教育に関する新聞記事や時事問題には日頃から敏感になり、情報収集に努めてください。 英語教師としての資質を磨き高めるため、日頃から自己研鑽に努め、ボランティア活動や英語指導には積極的に参加してください。